

# 歯科イノベーションロードマップ

「歯科イノベーションロードマップ」とは、国民の健口を守り、健康寿命の延伸に貢献することを目的に、2040年をゴールに据えて、歯科医療の進化による健康寿命延伸を具現化するためのロードマップです。今年度は、この「歯科イノベーションロードマップ」における2期3期において、到達目標達成のために演題を求め、プロローグとなるべく、このロードマップをもとに研究発表を募集致します。応募する研究について、①～⑦の各項目に内容が近いものを記入してください。なお、該当するものがない場合は⑧その他として、具体例をお書きください。

第2期  
2026年～2032年

第3期  
2033年～2039年

## I 新規検査・技術・治療法(口腔歯科治療のイノベーション、口腔検査技術のイノベーション)

- ①善玉歯垢細菌群と悪玉歯垢細菌群との判定が可能になる
- ②レーザー照射による削らないむし歯予防が実用化。
- ③幹細胞とiPS細胞を使った歯の再生が可能になる。
- ④口の病気の発症リスクのゲノム予測診断が実用化される。
- ⑤歯の神経や歯ぐきを修復する薬剤が開発。
- ⑥血液検査に代わる新たな唾液検査が開発。
- ⑦口腔がんを発生させる遺伝子異常が判明。

- ⑭幹細胞とiPS細胞を使って唾液腺の再生が可能に。
- ⑮悪玉歯垢細菌群を善玉歯垢細菌群に置き換えられる。
- ⑯子どもたちの口の中に理想的な善玉歯垢細菌叢群を創る技術が開発される。
- ⑰血液検査に代わる遠隔唾液検査が実用化される。
- ⑱遠隔診断による早期がん塗り薬治療が実用化される。
- ⑲AI診断により最適治療法が確立する。

## II 新規材料・機器(Novel materials・Instrument・Device)

- ⑧歯と一体化する修復機能材料が開発される。
- ⑨歯の神経と歯周組織の再生技術が実用化される。
- ⑩ヴァーチャルリアリティー技術による遠隔歯科診療支援システムが実用化。
- ⑪デジタル歯科医院が登場する。

- ⑳歯と一体化する修復治療が一般化する。
- ㉑歯の神経と歯周組織の再生治療が一般化する。
- ㉒天然歯に近い機能をもつ次世代バイオインプラント治療が一般化する。
- ㉓AIロボットによる遠隔歯科支援システムが実用化される。
- ㉔デジタル高次歯科病院の登場

## III 健康長寿社会の実現・フレイル対策

- ⑫口腔機能と認知症との関連についての解明が進む。
- ⑬身体に優しい嚥下機能診断機器が開発される。

- ㉕オーラルフレイル対策の充実により、健康寿命の延伸。
- ㉖あらゆる世代においてむし歯、歯周病の撲滅が進行する。
- ㉗歯科医療の革新的進歩により、健康長寿社会が達成される。